

第 53 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	村澤ゼミ	チーム名	チームみなみ
タイトル	アメフトにおける得点期待値		
テーマ群	a)理論・情報		
メンバー	南遼哉		
研究計画内容	<p>【研究背景】 私は実際にアメリカンフットボールのプレーヤーとして日常的に活動しており、同時にアメリカンフットボールの観戦も大好きだ。試合を観戦する際、得点の期待値を理解することができれば、試合を見る視点が一変し、戦略的な魅力を楽しむことができると考え、研究に至った。</p> <p>【研究内容】 私の研究は、NFL の 2022 または 2023 シーズンのすべてのプレーを取り上げ、具体的には、自陣 5、15、25、35、45 ヤード、そして敵陣 5、15、25、35、45 ヤードの各位置から、どの程度得点されているかを詳細に検証する。この分析において、タッチダウンを +7 点、フィールドゴールを +3 点、セーフティを -2 点、ファンブル・インターセプトを -7 点というスコアリング方式を使用する。※1st down 10 に限る</p> <p>【期待される効果】 この研究の目的は、アメリカンフットボールの観戦をより戦術的かつ戦略的に楽しむための知識を提供することだ。得点を取りやすい位置や状況を予測できるようになることで、試合の進行やチームの戦術を深く理解し、観戦体験が一層豊かになるだろう。観戦者がプレーの背後にある戦術を把握することで、試合の興奮をより一層味わうことができる。この研究を通じて、アメリカンフットボールのファンが試合を楽しむ新たな方法を見つけてくれることを望んでいる。</p> <p>【参考文献】 https://pubsonline.informs.org/doi/pdf/10.1287/opre.19.2.541 https://www.nflfastr.com</p>		